

下水道への関心深めた1日

9月9日、水質浄化センターで施設を一般開放しました。地下管廊の探検や水鉄砲コーナー、しゃぼん玉遊びコーナーなどのイベントに多くの家族連れが参加。水をきれいにする下水道の仕組みや働きを楽しみながら学びました。



音訳技術と心構え学ぶ

声の広報音訳講座を9月11日から4回コースで実施。目が不自由な人へ広報紙の内容をお知らせするため、その朗読者を養成することが狙いです。40人が技術と心構えを習得。受講者は、声の広報朗読ボランティアとして活躍します。



米寿祝い市長から慶祝状

米寿祝賀会を9月10日、商工会議所で開催。本年度88歳を迎える191人が出席し、高木市長から全員に慶祝状が手渡されました。その後、園児が歌と踊りを披露。会場は和やかな雰囲気になりました。



前橋の戦国時代を振り返る

9月12日、戦国時代の史跡を巡る歴史散歩を行いました。上泉伊勢守ゆかりの上泉城跡や前橋城跡、龍海院などを探訪。前橋城跡では、利根川を背にした自然のとりでを目の当たりにし、32人の参加者はしきりに感心していました。



気持ちを一つにし心を込めて歌う



東日本優秀演奏発表会に出場
大平 千尋さん・15歳
昭和町三丁目

三中合唱部が8月に行われたNHK全国学校音楽コンクールで銀賞を受賞。また、TBSこども音楽コンクール地区大会でも優秀賞に選ばれ、東日本優秀演奏発表会の出場権を得た。部長として日々部員をまとめ、練習に励んでいる。

「今は1年生部員がなくて、2・3年生10人で活動しています。部員が少ないので、入賞はできないと思っていました。でも、こんなに立派な賞を取れてうれしいです」

歌が大好きで小学生の時から合唱団に入っている。

「発表会では、8人での合唱と3人での重唱の2部門に出場したんです。人数の少なさを互いにカバーし合い、気持ちを一つにして、心を込めて歌うことができました。練習の

結果が出せたと考えています」

合唱や重唱をするには、メンバー一人一人が歌詩から感じるイメージを、一つに合わせることも重要だ。

「小人数だからミスをする目立ってしまうんです。だから、普段の練習から気持ちを引き締め、緊張感を持ちながら歌っています」

ステージに上がるとすごく緊張するが、歌い始めるとすっかり忘れてしまうという。

「今は、次の発表会に向け、練習を積み重ねています。また、デイサービス施設へ慰問にも出掛けているんですよ」

将来は人の役に立つようなことができたという。その夢に向かって、一步一步進んでほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選 くわがた

東小1年 金井 佑太さん

ぺんきいれを
おとうさんがもらってきた。
くわがたが6ぴきいた。
うんとうれしかった。
からだをそうつともって、
うつした。
がっこうで
ともだちに、
「さわらせて。」
といわれた。
やすみじかん、ずっとさわって
いた。

★入選 口ぐせ

月田小4年 関口 華子さん

ぞうの口ぐせ
パオーン
ライオンの口ぐせ
ガオー
木の口ぐせ
そよそよ
川の口ぐせ
サラサラ
ウルトラマンの口ぐせ
ジュワッ
仮面ライダーの口ぐせ
トオー
弟の口ぐせ
ネーネー、これちようだい
妹の口ぐせ
アンギュー、オンギヤー、
フング
お母さんの口ぐせ
もうやったの？
わたしの口ぐせ
あっ。そうか。